第28巻第46号　［宮崎県第46週（11/9～11/15）　全国第45週（11/2～11/8）］　令和8年11月19日

宮 崎 県 感 染 症 週 報

宮崎県薬務感染症対策課・宮崎県衛生環境研究所

令和8年第46週(ARIのみ第45週)の発生動向

□　全数報告の感染症（46 週までに新たに届出のあったもの）

1 類感染症：報告なし。2 類感染症：結核 6 例。
3 類感染症：報告なし。4 類感染症：つつが虫病 1 例。
5 類感染症：後天性免疫不全症候群 1 例、侵襲性肺炎球菌感染症 1 例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	70歳代	女	無症状病原体保有者	なし
			70歳代	女	無症状病原体保有者	なし
			70歳代	女	腸結核	発熱
			80歳代	男	脊椎カリエス	その他
		延岡	40歳代	女	結核性胸膜炎	発熱、その他
		高鍋	80歳代	男	肺結核及び心外膜炎	呼吸困難
4類	つつが虫病	小林	40歳代	男	－	頭痛、発熱、刺し口、発疹、その他
5類	後天性免疫不全症候群	宮崎市	20歳代	男	無症候性キャリア	なし
	侵襲性肺炎球菌感染症	宮崎市	60歳代	女	－	発熱、肺炎、菌血症、その他

□　定点把握の対象となる 5 類感染症

・定点医療機関からの報告総数は 366 人(定点当たり 19.9)で、前週比 110%と増加した。なお、前週に比べ増加した主な疾患はインフルエンザで、減少した主な疾患はＲＳウイルス感染症、Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎であった。

また、第 45 週の急性呼吸器感染症の報告総数は 1,228 人(定点当たり 45.5)で、前週比 97%とほぼ横ばいであった。

【インフルエンザ】

報告数は 209 人(7.7)で、前週比 135%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(0.87)の約 8.9 倍であった。年齢群別は 15 歳未満が全体の約 6 割を占めた。

【ＲＳウイルス感染症】

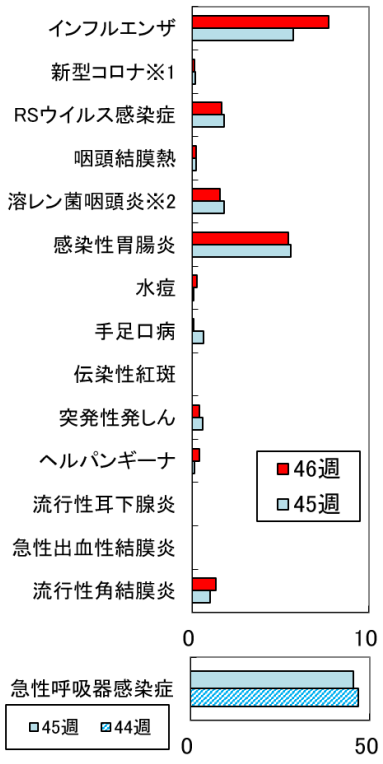
報告数は 23 人(1.6)で、前週比 92%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(0.46)の約 3.6 倍であった。年齢群別は 1 歳が全体の約 4 割を占めた。

【感染性胃腸炎】

報告数は 76 人(5.4)で、前週比 97%とほぼ横ばいであった。例年同時期の定点当たり平均値*(10.7)の約 0.5 倍であった。年齢群別は 1 歳から 2 歳が全体の約 3 割を占めた。

＊　新型コロナウイルス感染症流行前 5 年間(2015－2019)の当該週、前週、後週（計 15 週）の平均値

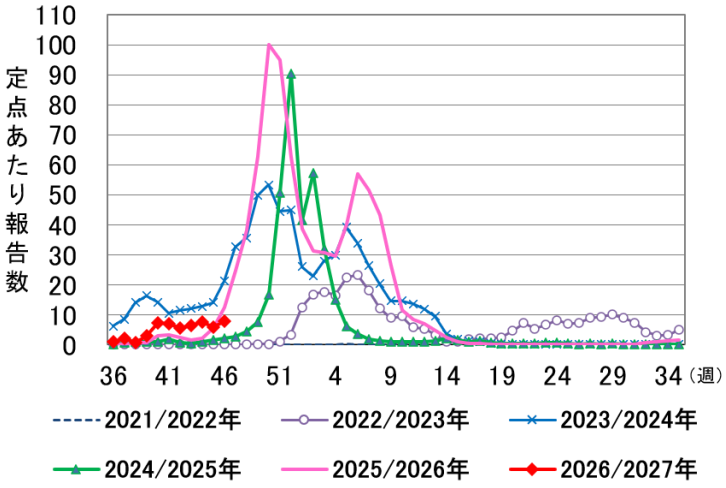
《前週との比較》



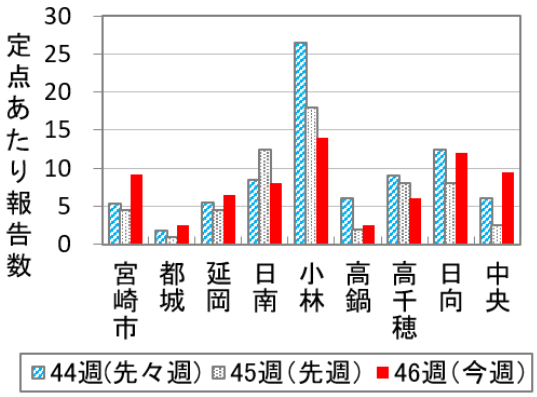
定点あたり報告数

※1 新型コロナウイルス感染症
※2 Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎

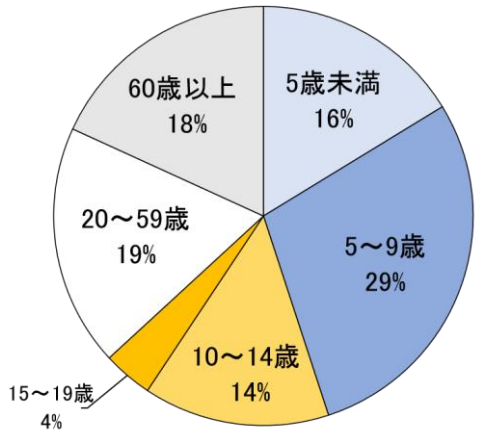
インフルエンザ　発生状況



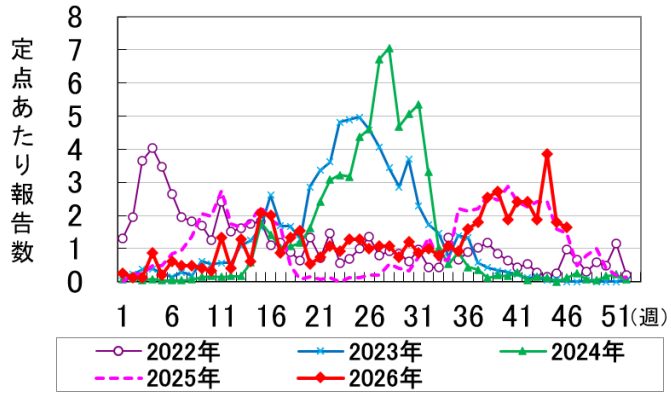
インフルエンザ　保健所別推移(3 週分)



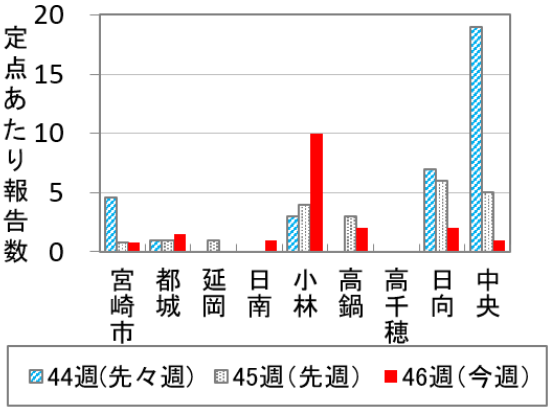
インフルエンザ　年齢群別グラフ(第 46 週)



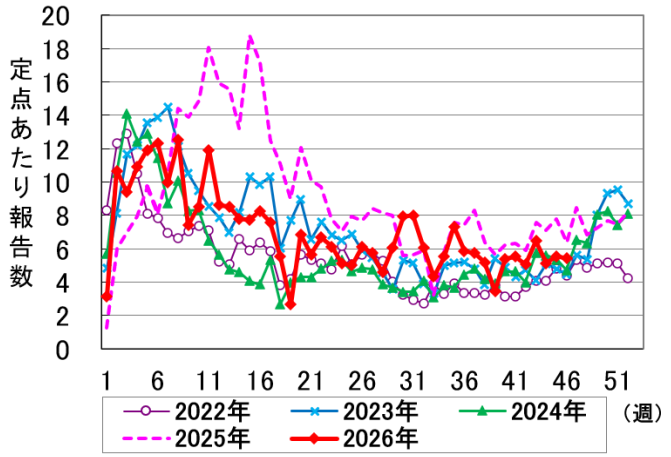
ＲＳウイルス感染症　発生状況



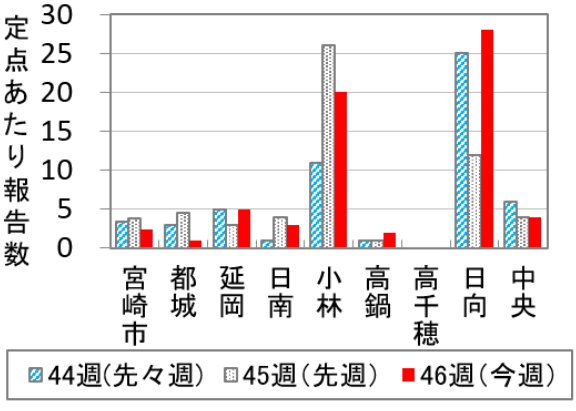
ＲＳウイルス感染症　保健所別推移(3 週分)



感染性胃腸炎　発生状況



感染性胃腸炎　保健所別推移(3 週分)



★基幹定点からの報告★

○無菌性髄膜炎：報告数は 1 例(定点当たり 0.14)で、都城保健所から報告があった。年齢は 0～4 歳であった。

○マイコプラズマ肺炎：報告数は 2 例(定点当たり 0.29)で、延岡保健所から報告があった。年齢はいずれも 10～14 歳であった。

○感染性胃腸炎(ロタウイルス)：報告数は 1 例(定点当たり 0.14)で、延岡保健所から報告があった。年齢は 0～4 歳であった。

★保健所別　流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患
宮崎市	なし
都城	なし
延岡	なし
日南	なし
小林	インフルエンザ(14.0)、感染性胃腸炎(20.0)
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	インフルエンザ(12.0)、感染性胃腸炎(28.0)、水痘(3.0)
中央	なし

＊流行警報レベル開始基準値＊

・感染性胃腸炎(20)

・水痘(2)

＊流行注意報レベル基準値＊

・インフルエンザ(10)

※流行警報レベル開始基準値、流行注意報レベル基準値は令和6年度まで運用した参考値です。

□病原体検出情報（衛生環境研究所微生物部）

★急性呼吸器感染症(Acute Respiratory Infection：ARI)

(第 45 週:11 月 2 日～11 月 8 日搬入分)

検出病原体			検出数
インフルエンザウイルス	A型	AH1pdm09	4
		AH3	0
	B型	ビクトリア系統	0
		山形系統	0
新型コロナウイルス			0
RSウイルス	A型		0
	B型		0
パラインフルエンザウイルス	1型		0
	2型		0
	3型		0
	4型		0
ヒトメタニューモウイルス			0
ライノウイルス			4
エンテロウイルス			0
アデノウイルス			0
検出せず※2			6
受付検体数			14

○　急性呼吸器感染症（ARI）※1サーベイランス検体について、急性呼吸器感染症サーベイランス遺伝子検査マニュアルに従い、検査を実施した。

※1　急性呼吸器感染症(ARI)：咳嗽、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか 1 つ以上の症状を呈し、発症から 10 日以内の急性的な症状であり、かつ医師が感染症を疑う外来症例

※2　左記のいずれのウイルスも検出されなかった検体数を計上

全国 2026 年第 45 週の発生動向

□ 全数報告の感染症

1類感染症	報告なし						
2類感染症	結核	196 例					
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	39 例	腸チフス	1 例			
4類感染症	E型肝炎	5 例	A型肝炎	6 例	エキノコックス症	1 例	
	エムポックス	2 例	重症熱性血小板減少症候群	1 例	つつが虫病	13 例	
	デング熱	4 例	日本紅斑熱	23 例	マラリア	1 例	
	レジオネラ症	90 例					
5類感染症	アメーバ赤痢	4 例	ウイルス性肝炎	3 例	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	9 例	
	急性脳炎	11 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	2 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	17 例	
	後天性免疫不全症候群	9 例	ジアルジア症	1 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	10 例	
	侵襲性髄膜炎菌感染症	2 例	侵襲性肺炎球菌感染症	35 例	水痘（入院例）	11 例	
	多剤耐性緑膿菌感染症	3 例	梅毒	104 例	播種性クリプトコックス症	1 例	
	破傷風	1 例	百日咳	52 例			

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 100%と横ばいであった。なお、前週と比較して増加した主な疾患はインフルエンザで、減少した主な疾患はＲＳウイルス感染症、ヘルパンギーナであった。また、急性呼吸器感染症の報告数は前週比 105%と増加した。

インフルエンザの報告数は 41,071 人(11.0)で前週比 107%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(0.65)の約 17.0 倍であった。北海道(28.3)、福島県(21.1)、青森県(19.8)からの報告が多く、年齢群別では 15 歳未満が全体の約 6 割を占めた。

ＲＳウイルス感染症の報告数は 2,568 人(1.1)で前週比 92%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(0.99)の約 1.2 倍であった。島根県(3.6)、奈良県(2.7)、山口県(2.5)からの報告が多く、年齢群別では 6 ヵ月から 2 歳が全体の約 7 割を占めた。

ヘルパンギーナの報告数は 1,138 人(0.51)で前週比 75%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(0.19)の約 2.7 倍であった。富山県(1.7)、石川県(1.6)、高知県(1.6)からの報告が多く、年齢群別では 1 歳から 3 歳が全体の約半数を占めた。

＊ 新型コロナウイルス感染症流行前 5 年間(2015－2019)の当該週、前週、後週（計 15 週）の平均値

月報告対象疾患の発生動向　＜2026 年 10 月＞

□性感染症

【宮崎県】　定点医療機関総数：12

定点医療機関からの報告総数は34人(2.8)で、前月比160%と増加した。また、昨年10月(2.5)の約1.2倍であった。

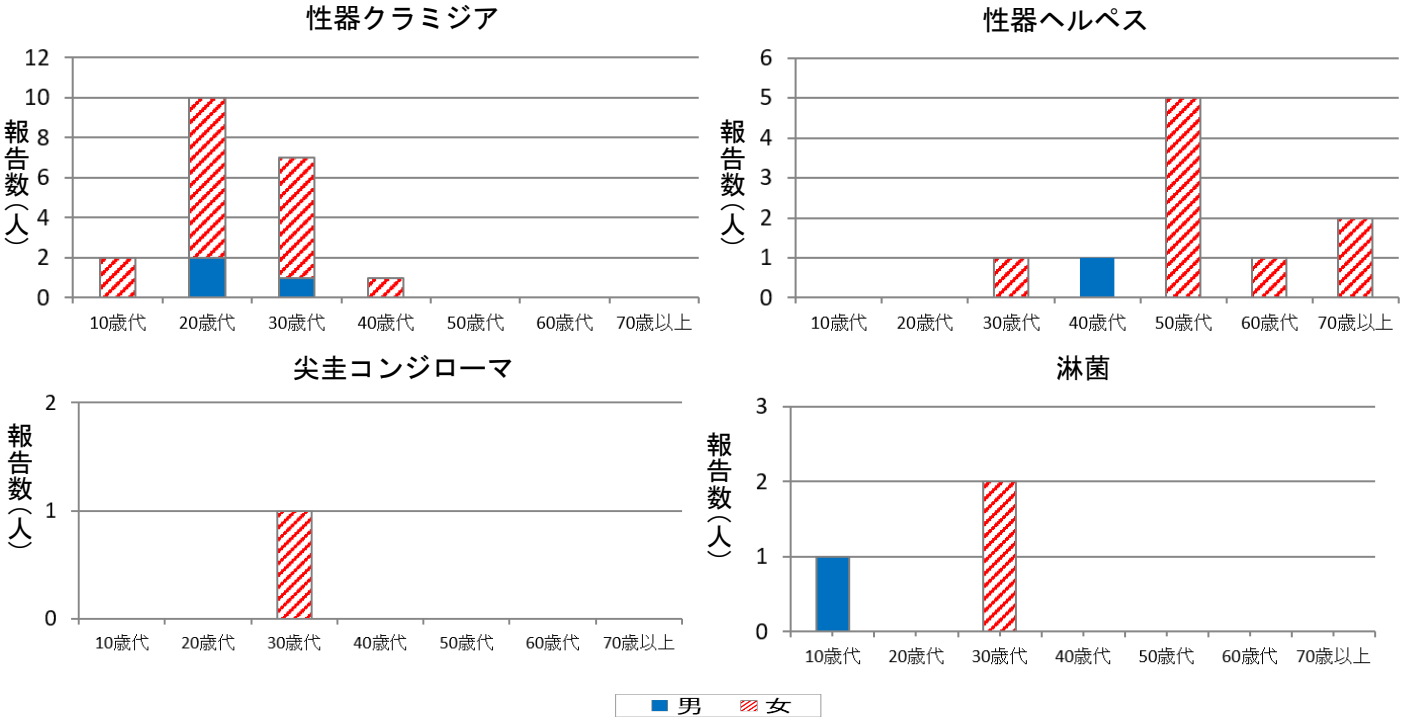
《疾患別》

○性器クラミジア感染症：報告数20人(1.7)で、前月の約1.6倍、昨年10月の約1.3倍であった。20歳代が全体の半数を占めた。(男性3人・女性17人)

○性器ヘルペスウイルス感染症：報告数10人(0.83)で、前月の約1.4倍、昨年10月の約1.6倍であった。(男性1人・女性9人)

○尖圭コンジローマ：報告数1人(0.08)で、昨年10月の約0.3倍であった。(女性1人・前月報告なし)

○淋菌感染症：報告数3人(0.25)で、前月の約3.3倍、昨年10月の約0.8倍であった。(男性1人・女性2人)



【全国】

定点医療機関からの報告総数は4,686人(4.8)で、前月比109%と増加した。疾患別報告数は、性器クラミジア感染症2,530人(2.6)で前月比112%、性器ヘルペスウイルス感染症1,009人(1.0)で前月比108%、尖圭コンジローマ491人(0.51)で前月比102%、淋菌感染症656人(0.68)で前月比108%であった。

□薬剤耐性菌

【宮崎県】　定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は13人(1.9)で、前月比68%と減少した。また、昨年10月(3.7)の約0.5倍であった。

《疾患別》

○メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数13人(1.9)で、前月の約0.7倍、昨年10月の約0.5倍であった。70歳以上が全体の約6割を占めた。

○ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告なし。

【全国】

定点医療機関からの報告総数は 1,351 人(2.8)で、前月比 103%とほぼ横ばいであった。疾患別報告数は、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症 1,317 人(2.7)で前月比 102%、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症 34 人(0.07)で前月比 175%であった。

宮崎県 感染症情報　（40定点医療機関 ）

2026年 第46週（11月09日～11月15日）

疾病名		第45週	第46週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	155	209	82	10	13	16	28	5	12	24	19
	定点当り	5.74	7.74	9.11	2.50	6.50	8.00	14.00	2.50	6.00	12.00	9.50
新型コロナウイルス感染症	報告数	5	4	2					1	1		
	定点当り	0.19	0.15	0.22	0.00	0.00	0.00	0.00	0.50	0.50	0.00	0.00
RSウイルス感染症	報告数	25	23	4	3		1	10	2		2	1
	定点当り	1.79	1.64	0.80	1.50	0.00	1.00	10.00	2.00	0.00	2.00	1.00
咽頭結膜熱	報告数	3	3	2								1
	定点当り	0.21	0.21	0.40	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	25	22	11	1		1	1	5		3	
	定点当り	1.79	1.57	2.20	0.50	0.00	1.00	1.00	5.00	0.00	3.00	0.00
感染性胃腸炎	報告数	78	76	12	2	5	3	20	2		28	4
	定点当り	5.57	5.43	2.40	1.00	5.00	3.00	20.00	2.00	0.00	28.00	4.00
水　痘	報告数	1	4	1							3	
	定点当り	0.07	0.29	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	3.00	0.00
手足口病	報告数	9	1				1					
	定点当り	0.64	0.07	0.00	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
伝染性紅斑	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	8	6	3							2	1
	定点当り	0.57	0.43	0.60	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	2.00	1.00
ヘルパンギーナ	報告数	2	6	4	2							
	定点当り	0.14	0.43	0.80	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	6	8	2	2	4						
	定点当り	1.00	1.33	0.67	1.00	4.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数		1		1							
	定点当り	0.00	0.14	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数	2	2			2						
	定点当り	0.29	0.29	0.00	0.00	2.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	報告数		1			1						
	定点当り	0.00	0.14	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

2026年 第45週（11月02日～11月08日）

		第44週	第45週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
急性呼吸器感染症	報告数	1261	1228	288	160	152	86	129	73	48	211	81
	定点当り	46.70	45.48	32.00	40.00	76.00	43.00	64.50	36.50	24.00	105.50	40.50

ARI定点：27、小児科定点：14（ARI定点を兼ねる）、眼科定点：6、基幹定点：7

●全数把握対象疾患累積報告数（2026年 第01週～46週 保健所受理分）

2類感染症	結 核	121例(6)					
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	51例					
4類感染症	E型肝炎	1例	A型肝炎	1例	重症熱性血小板減少症候群	4例	
	つつが虫病	5例(1)	デング熱	1例	日本紅斑熱	16例	
	レジオネラ症	14例	レプトスピラ症	2例			
5類感染症	アメーバ赤痢	3例	ウイルス性肝炎	2例	ｶﾙﾊﾞﾍﾟﾈﾑ耐性腸内細菌目細菌感染症	2例	
	急性脳炎	2例	クリプトスポリジウム症	1例	クロイツフェルト・ヤコブ病	1例	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	10例	後天性免疫不全症候群	7例(1)	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1例	
	侵襲性肺炎球菌感染症	14例(1)	水痘（入院例）	8例	多剤耐性緑膿菌感染症	4例	
	梅 毒	60例	播種性クリプトコックス症	4例	破傷風	1例	
	百日咳	58例	麻しん	1例			

（　）内は今週届出分、再掲